

モグリウムで、絶滅した手賀沼の水生植物「ガシャモク」を 育てるワークショップを開催

手賀沼では絶滅してしまった水生植物「ガシャモク」を市民の手で育てていくワークショップ『手賀沼モグリウムワークショップ ～手賀沼によみがえれ！ガシャモク』を手賀沼流域7市全てで開催します。※モグリウム…沈水植物を栽培する水槽。

主催：手賀沼流域フォーラム実行委員会

※手賀沼の浄化に関わる市民団体と流域7市（我孫子市、柏市、印西市、松戸市、流山市、鎌ヶ谷市、白井市）、手賀沼水環境保全協議会（事務局：千葉県水質保全課）でつくる組織で、手賀沼の水環境保全に向けた啓発活動を行っています。

後援：公益財団法人 山階鳥類研究所

講師：林 紀男さん（千葉県立中央博物館 上席研究員）

開催場所（開催日順）：流山市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市、我孫子市、松戸市、柏市



※会場での取材をご希望の場合は、我孫子市会場にてお受けいたします。

8月18日（月）14：00-15：30 我孫子市生涯学習センター アビスタ 工芸工作室

※各会場の申込み方法など詳細は、手賀沼流域フォーラム Web サイト

<https://teganumaforum.com/events/events-plan/>をご確認ください。QR コード→



手賀沼はかつて水草の宝庫として 1950 年代までは 20～30 種が確認されていましたが、水質の悪化とともに 1977 年ですべての沈水植物と浮葉植物が絶滅してしまいました。沼中に繁茂していた「ガシャモク」も例外ではありませんでした。

これらの水草を復活させ、生きもの豊かな水辺環境を流域全体に取り戻すために、今年度、手賀沼流域フォーラムでは、市民団体が保存してきた手賀沼由来の「ガシャモク」の苗をモグリウム（沈水植物を栽培する水槽）で育てて、生きものたちのにぎわいを創り出す取り組みを、市民参加のワークショップとして手賀沼流域7市全てで実施します。

当日は講師の林先生のご指導のもと30L入りのポリエチレン樽の中に「ガシャモク」の苗を植えた植木鉢を沈めてモグリウムをつくり、参加者がそれぞれ持ち帰って育てます。秋頃に参加者が育てた「ガシャモク」の写真を送ってもらい、その後の生育状況を確認します（そのようすは11月上旬に我孫子市生涯学習センター・アビスタで開催するパネル展にて発表予定）。

手賀沼流域フォーラム実行委員会はこの取り組みで、「ガシャモク」復活に向けた市民のつながりを作り、将来、手賀沼の水環境が改善されたときに市民の手で保全された「ガシャモク」を沼に戻せるようにしていきたいと考えています。

【問い合わせ】手賀沼流域フォーラム実行委員会
事務局 担当 竹内

Web サイト <https://teganumaforum.com/>

事務局メールアドレス teganumaforum@yahoo.co.jp

☎ 090-3907-8355